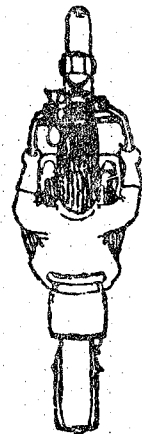


# 通信

## ◎東京だより

田中生

肅啓、前號に於て特別議會の狀況を御報道申上ぐることに御約束致置候處、新内閣成立後早々の議會なると特別議會の性質上問題も自然制限され、従つて取立て、御報道申上ぐるだけの問題も無之候、唯だ永年政府側に味方して所謂御用黨たりし舊政友會の一部議員を以て成る政友本黨が、在野黨として今回議場に活動することとなり、苦節十年在野黨として奮闘したる憲政會が所謂御用黨として忠勤振を發揮する場面と相成候ことが、何となく面白く被感候、政府黨として議會に絶對多數を占め、時には正論も多數に依つて否決したる愉快さを知るもの、在野氣分は、さこそと被察、是を動機として言論を以て政府に肉迫し又は憲政會に挑戦するものと世人をして期待せしめたる政友本黨が、そのことなくして常に憲



政會に先んぜられ、會に言論を以てするも論旨徹底せずして葬られたる嫌有之候は、多年御用黨として守勢的態度に慣れたるの致す處にして、氣の毒の感有之新聞紙に於て常に野黨の意氣揚らすと報ぜられたるも事實に御座候、反之憲政會が一陽來復の態度を以て遮二無二從來の不平を取返さんとする氣分は少々淺ましく被感候、憲政會の某有力な陣笠氏が小生に語る所に依れば、在野黨のときこそ自分等が議場に言論を以て咆哮することが出来たが、今は緘口令を布かれた様なもので議席に居るさへ心苦しいと申居候、是等は事實の告白にして陣笠連の苦衷は察するに餘りあり候得共、在野黨以來同僚間にさへも言論を以て始終し、反對黨に對しては飽く迄追及せずむば己まざるの慨を有する横山氏が、豫算委員會の第二分科會(内務省主管)の主査として愛嬌を振りまきつゝ、議事を進める所を觀れば、隔世の感有之従つて、憲政會が従順に致居

候處を觀て、誰か矢張り野におけ蓮華草——矢張り野にお  
け憲政會と申候は無理からざる言と存候、

以上申述候様の次第にして平凡なる議會なりしも、茲に報  
道するの一事は道路會議廢止の問題に有之候、前内閣は帝國  
經濟政策の建て替を企て、之を審議するが爲、經濟會議を設  
定したることは、機宜に適したる措置として吾人が贊辭を惜  
まざりし處なりしも、此會議の設置を理由として、帝國路政  
の最高諮問機關たる道路會議を廢止したることの、極めて不  
合理、不得策なることは前々號に於て痛論したる處に有之候  
特に議會に於ける衆議院豫算總會に於ても亦同一の議論出  
て候は、吾人同憂の士を得たる次第にして何とく心強く被感  
候、質問者は例の奇聲を以て有名な大口喜六氏に有之、同氏  
の質問は、吾人の言はむと欲する所を言ひ得て餘りなく、道  
路法審議の場合に於けなる特別委員會に於て、道路が國家の  
營造物なるや否やに付議論出て、假令國家の營造物とするも  
之に關する費用は府縣市町村に於て、負擔するものなるが故  
に費用負擔に密接の關係を有する議會に諮問するの途を設け  
と言ふ要求に對し、當時の内務大臣は此意見を採用して遂に  
道路會議の設定を觀たものである、然るに拘はらず政府單獨  
に之を廢止するは道路法制定の場合に於ける趣旨に反するの

みならず、政府が交渉したことを理由として、其の政府が國  
民に約束したことを後の政府が自由に之を變更するが如きこ  
とありとせば、吾々は如何にして政府を信用することが出來  
るのであるかと、痛論し若し前約束を變更するものとせば、  
更に之を約束した議會の承認を求むるを適當と信するが、現  
内閣は之に對して如何なる所見なるやと質し遂に湯淺内務次  
官をして廢止の可否は篤と考慮すべき旨を言明せしめたる  
は、特別議會に於ける一大獲物と可申吾人は帝國議會に於て  
爲さるゝ空理空論に對しては飽き居りたるに、今大口氏の質  
問に遭ひ流矢民意の代表なりとの感を深からしめ申候、  
新内閣の財政方針は議會に於ける濱口藏相の演説に依つて  
其の概要を窺知することを得べく、政費の緊縮を斷行して、  
行きつまれる財界を打開する由に有之、大正十四年度豫算も  
其の方針のもとに編成せらるべく、閣議決定の模様依ると  
きは、帝都復興事業費及震害復舊諸費に限り従前の通りとし  
變更せざる趣に候得共、其の他の經費に關しては、徹底的の  
節約否な緊縮を斷行し、歴代の内閣が企圖したるが如き所謂  
天引削減の如き、姑息なる方法を採らず、廢止すべき事業は  
法令を改正しても尙且之を廢止し、既に決定したる繼續事業  
と雖ことの緩急を圖り、之を取捨整理し假令廢止に依つて經

濟上の損失若は不便不利を伴ふも斷然之を中止し、存續すべきものと決定したる事業と雖出來得る限り年限を延長し、新規事業は一切之を見合す方針の由に御座候、道路改良費は前年度より特定したる工事に毎年の豫算範圍に於て補助すること、相成居、事業其のものは繼續的なるも、豫算は繼續費に非ざるが故に新規事業として取扱はれ候趣にて其の運命樂觀を許さず、前年度より引き続き補助を受けたるものなるが故に十四年度も亦引き続き補助を受くるものと心得居るときは大なる間違を生ずるに至るべく、此歸結如何は折角擡頭したる道路改良事業に一大蹉跌を來すこと、相成痛心の至に不堪候加之十三年度に於て決定したる道路改良費の補助も、未契約に屬するものは此際契約を見合すべき大藏當局の意見あるやにて、事業を助成するに力むる内務者土木局は、補助の指令を急ぎ居るも相手方たる府縣は必ず補助を貰ふものと高を括つて申請の遅延するものあるやにて、焦慮致居候、記者が財務當局を訪問したるときも、今は國家の財政的存亡の秋なるを以て、道路改良の如きは眞面目に考慮するの餘地なく、固より府縣に對し後年度に屬する補助を契約したるものにも無之、府縣が補助を受くるものとして道路改良事業の豫算を編成したるが誤なりと申居候、加之國庫補助を廢止したるが

爲、府縣財政の行きつまることありとせば、事業を中止すれば足る故に道路工事は勿論橋梁工事にして中途に在るものも廢止すれば足るべく、橋脚を一部建設して中止することが、治水上支障ありとせば、之を一事と先除却すれば足ると申居候此方針の下に河川改良も港灣修築も斧鉞を加へらるべく、河川工事にして中途廢止するものに對しては、假締切工事に要する費用を支出しても尙且事業を廢止すべき勢に有之、是を耳にしたる地方有志は内務大藏兩省に御百度參りを致居候、此意氣込を以てするときは、十四年度道路改良費豫算も或は全部廢止せらるべきやも難計懸念に不堪候、曩に發表されたる地方長官の更迭は、吾黨の期待に反すとかの批難ありし趣にて再度の更迭あるやに傳へられ候處、堀内長崎縣外三縣知事が休職を被命候、其の休職の原因が果して新紙の傳ふる所の如くんば、吾人は之を評して猿の尻笑ひと申度政友會が過去に於て地方官を政黨の具とし、地方官界の綱紀を紊亂したるものとして指彈攻撃したる憲政會が其の亞流を汲んで同一事を繰返すが如きは、同會將來の爲惜む所にして、全く新聞紙の風説に終らむことを祈りて己まざるものに御座候、

經費を節約し、執務能率を増進すべきことは、屢訓令され

たる處にして、固より結構なことに候得共此兩者を調和することは困難なる義に有之、經費節約の趣旨を以て各省各廳に於て使用する自動車制限の通達を發せられたる趣に有之候固より官廳用自動車を使用して暮夜待合に通ぶが如きは、絶對に禁止すべきものに有之候得共今日各省廳に於て使用する自動車が、如何に執務能率の増進に貢獻しつゝあることかを思はゞ寧ろ能率増進上之を増加することこそ適當とすれ、之を廢止減少するが如きは、文明の機を利用せしめずして尙文明的執務方法を探れと言ふに等しく、西洋紙を與へてペンを使用すべからずと言ふと同一に非ざるかと被存、能率増進上不得策と存候

敬具

### 惡道人心を惡化す

泥や塵埃をあびせて勢よく駆け抜けて行く自動車の大きな姿を見送る時ほど激しい階級闘争の念を沸き立たせることはないと言つた労働者があつた、しかし一體あれば九分九厘まで道路が悪いから起ることなのである。道路は死物で動かないから動く自動車に食つてかゝるのは人情として已むを得ないが自動車のあるのに渠未だ成らざるに水を通ずるからいけないのだ、乃ち曰く惡道惡化人心。

### 郊外

細井魚袋

咲き垂るる葛の房花つゆをもち道ゆくひとの肩にとどくも

× × ×

務めよりかへる道べの石垣に葛からまりて埃しろしも

× × ×

道のべにみあけし夜半の大空に星は流れて尾をひきにけり